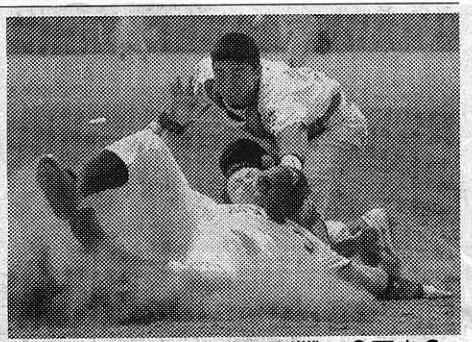
ゲッツ完敗デビュー



富士クラブ・アムウェイ戦　6回表2死満塁、富士・子上（ねがみ）の中前打で三塁走者に続き二塁から藤田もホームを突いたがタッチアウト（捕手・森田）

都市対抗野球

静岡地区第1次予選〈第2日〉（14日・新富士球場）

初陣ゲッツが完敗デビュー。1回戦1試合と2回戦2試合が行われた。今大会から公式戦初出場となったゲッツベースボール倶楽部は、0―10の5回コールドで静岡硬式野球倶楽部に敗れた。元ヤオハンジャパンのアムウェイレッドソックスは富士クラブに打撃戦の末、9―12で敗退した。

0―10たった1安打「力不足。もっと練習」

記念すべき公式戦の初戦はほろ苦スタートだった。ゲッツベースボール倶楽部が打っては、たったの1安打で二塁も踏ませてもらえない。勝てないまでも、「9回まではやりたかった」加藤力監督兼投手（37）の願いもむなしく5回でコールド負けに終わった。

出はなをくじかれた。元ヤマハの投手だった指揮官自ら立った先発マウンド。味方の失策なども絡んでいきなり4点を失った。

経験不足が出た。「久しぶりに硬球に触る選手ばかりだった」加藤監督がナインをかばう。練習試合1試合しただけ。ユニホームは前日そろったばかり。平日にかかわらず18人が集結。他チームに比べて〝出席率〟だけは良かった。

黒星スタートに選手も気持ちを切り替える。「まだ力不足。もっと練習します」唯一、安打を放った内藤伸（27）が唇をかむ。今回の登録は間に合わなかったが、秋には元実業団の選手が加入予定。公式戦初勝利へ一から出直す。

（塩沢　武士）